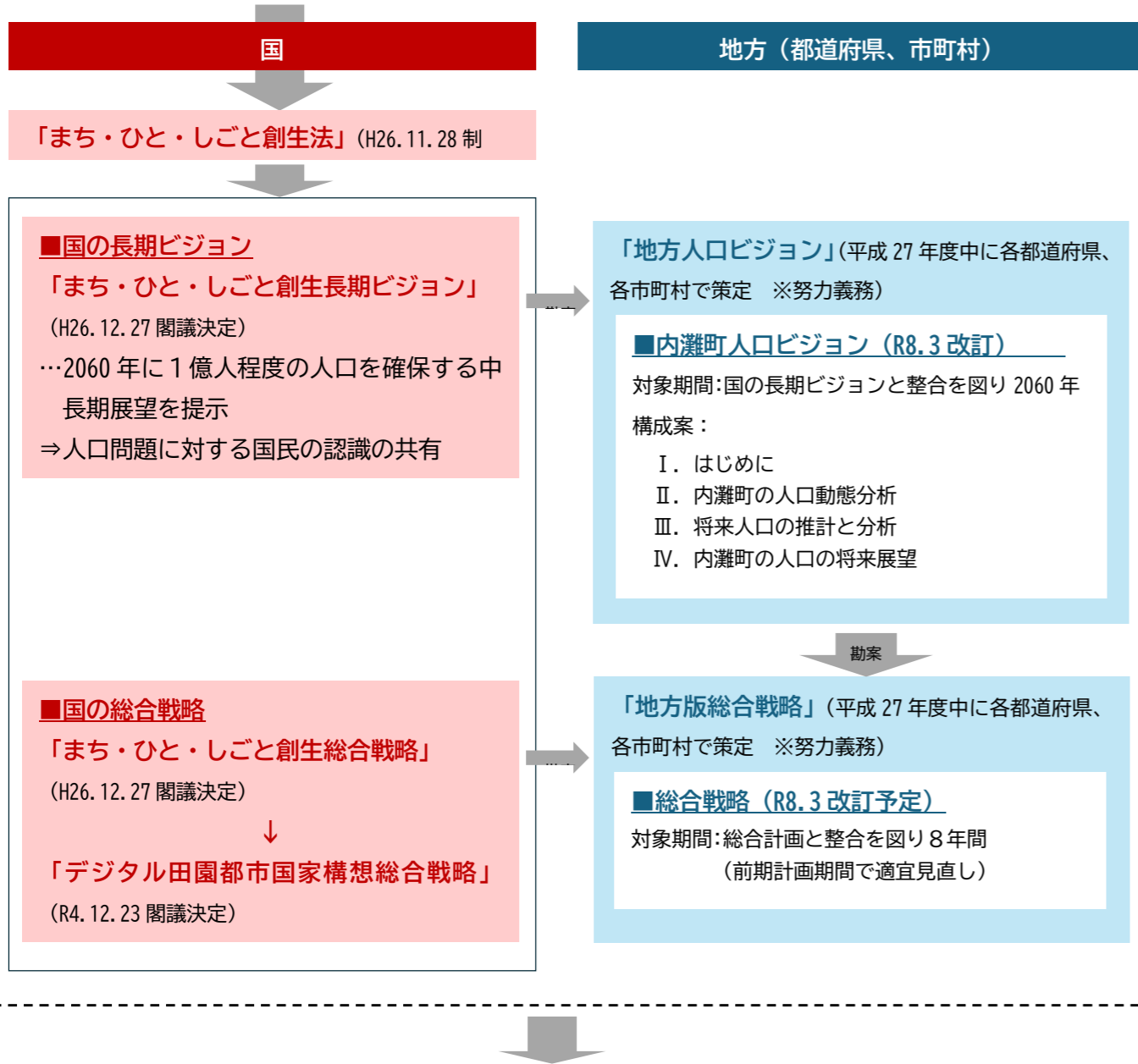


内灘町人口ビジョン【概要版】

1. 人口ビジョンと総合戦略との関係

■背景・目的

- ・急速な少子高齢化の進展に的確に対応
- ・地方の人口減少に歯止めをかける
- ・東京圏への人口の過度の集中を是正
- ・それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある日本社会を維持

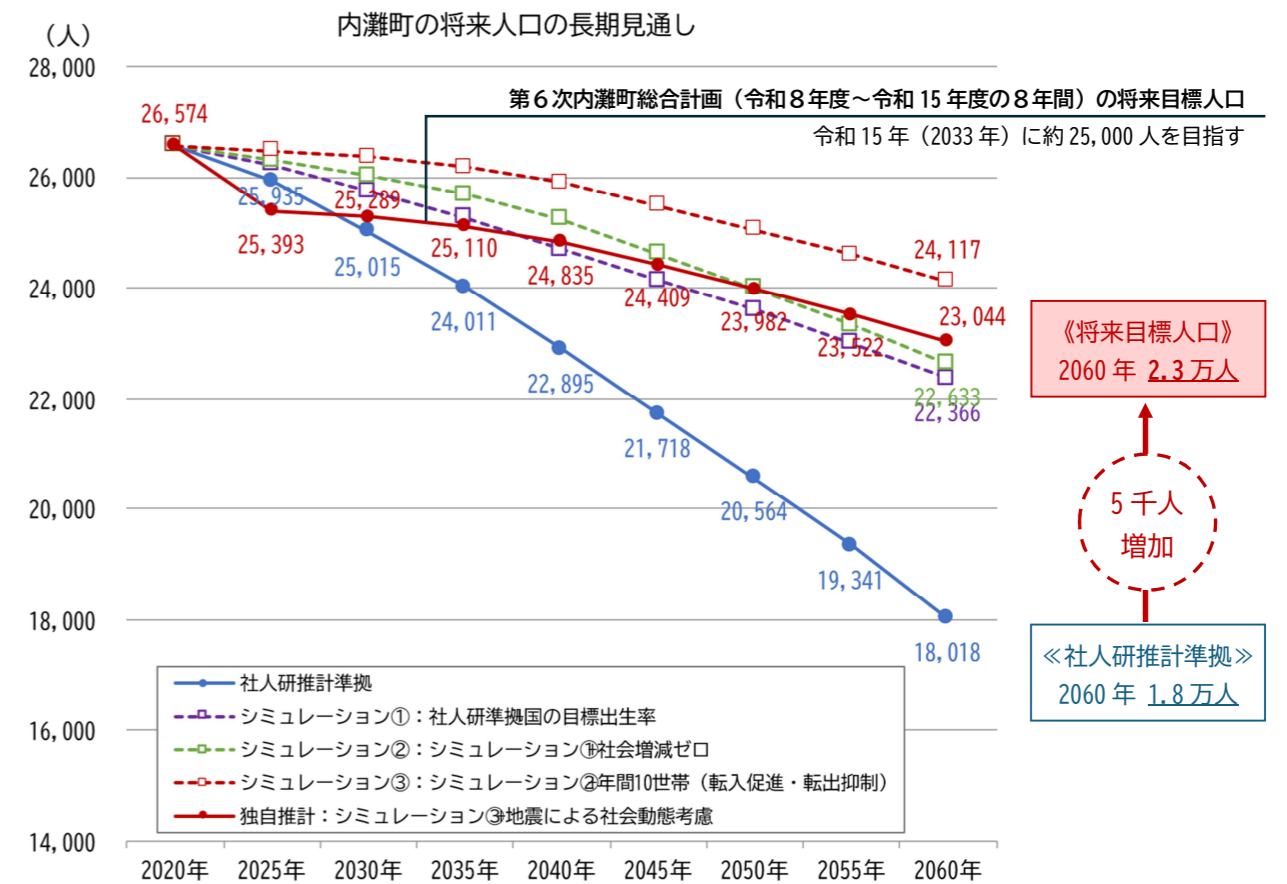


総合戦略を定めるにあたっては、内灘町人口ビジョンの人口の現状及び将来の見通しを踏まえ、対象期間において将来目標人口を達成するための施策を推進

2. 将来目標人口の設定：2060年に2万3千人の人口を確保する

子育て環境の充実により、若年世代の定住を促進し、合計特殊出生率（出生数）を向上させ、人口年齢構成のバランスの維持改善を図ります。また、町民の健康増進や、安全安心な住環境の整備により、将来にわたって町の賑わい・活力を維持し、持続可能な地域社会の実現を目指します。

上記のとおり町独自の施策を講じることにより、2060年に2万3千人の人口を確保することを目標とします。



<人口推計のための仮定>

- ・ 自然動態：第2期と同様の合計特殊出生率の向上を目指します。
⇒ 合計特殊出生率 2030年に1.8、2040年に2.07まで向上、以降も維持
 - ・ 社会動態：2015～2020年の社会動態の傾向（やや転入超過）を勘案し、社会増減がゼロであることを基本に、定住促進施策等による若年世帯の社会増を目指します。
⇒ 社会増減ゼロ + 年間10世帯（30人）^(※)の転入
- ^(※) 30歳代の夫婦と0-4歳の子ども（1人）の3人世帯（定住促進奨励金交付時の転入者の家族構成等を参考に設定、子どもの性別は0-4歳性比による）
- ・ 令和6年能登半島地震による社会動態を考慮するため、2025年の人口は住民基本台帳人口（2025年9月末時点）を採用し推計します。